

<研究名称>

血液内科病棟の看護師が患者の意思確認する場面の実態調査

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 7階きた病棟 看護師 霜野 加依

実施担当者 7階きた病棟 看護師 大槻 智恵、佐藤 尚美、菊川 久美

<研究期間>

2020年8月20日～9月5日

<診療・研究の目的>

本研究の目的は、患者に意思確認する際、看護師によって話を聞く内容にどのような違いがあるのかを明らかにする。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

（1）実施内容（方法）

1. 研究デザイン

質的研究、参加観察研究

2. 対象・期間

対象:研究メンバーと経験年数1年目を除くA病棟に勤務する看護師の中から、以下に該当する看護師の中から4名選定する。リーダー経験がある看護師はリーダー経験がない看護師に比べて患者を捉える視点が広いこと、また患者の意思を聞く場面の経験を重ねていると考えた。先行研究9)より、ACPの知識の有無によっても患者への聞き取りの内容に違いがあるのではないかと考えた。よって以下に該当する看護師の中から4名選定することにする。

- ・当病棟でリーダー経験あり、ACPの知識を有する看護師1名
- ・当病棟でリーダー経験あり、ACPの知識を有さない看護師1名
- ・当病棟でリーダー経験なし、ACPの知識を有する看護師1名
- ・当病棟でリーダー経験なし、ACPの知識を有さない看護師1名

3. データの収集方法

調査方法は、独自で作成したACPの知識を問うアンケート調査を実施する。その中から、上記に該当する看護師を選定する。対象看護師にロールプレイを実施する。ロールプレイの内容は研究者が独自のシナリオ作成し、同一のシナリオを用いて行う。プライバシーが保護できる個室で、看護師役一人と患者役一人で行う。また、模擬患者役は研究メンバーの中で1人行う。ロールプレイは患者の身体の負担を考えたこと、実際に現場で話を聞く際のおおよその時間か

ら 15 分以内とし、15 分を超える場合は患者役から疲労の旨を伝え、ロールプレイを終了する。「医療に関するアンケート」に沿って意思を確認する看護師役の聞く内容を、対象者の許可を得て I C レコーダーに録音する。

4. データの分析方法：

ロールプレイの内容から逐語録を作成する。逐語録を熟読し、看護師が患者の意思を確認している文章を抽出しコード化する。コード化したものをコードの類似しているものを帰納法を用いてサブカテゴリー分けし、集計・分析する。

(2) 危険性・副作用等

なし

<倫理上問題になると考えられる事項>

なし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙 1 条 1 丁目 1 番 1 号

旭川赤十字病院 7 階きた病棟 看護師 霜野 加依

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648